

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 2 日 (2005.12.2)

【公表番号】特表 2000-516191 (P2000-516191A)

【公表日】平成 12 年 12 月 5 日 (2000.12.5)

【出願番号】特願平 10-548990

【国際特許分類第 7 版】

C 0 4 B 24/26

C 0 4 B 22/06

C 0 4 B 22/08

C 0 4 B 22/14

C 0 4 B 24/04

C 0 4 B 24/12

C 0 4 B 28/02

// C 0 4 B 103:32

【F I】

C 0 4 B 24/26 F

C 0 4 B 22/06 Z

C 0 4 B 22/08 B

C 0 4 B 22/14 Z

C 0 4 B 24/04

C 0 4 B 24/12 A

C 0 4 B 24/26 E

C 0 4 B 24/26 A

C 0 4 B 24/26 H

C 0 4 B 24/26 G

C 0 4 B 28/02

C 0 4 B 103:32

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 13 日 (2005.5.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成17年5月13日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第548990号

2. 補正をする者

住 所 スイス連邦 CH-8048 チューリッヒ、ヴルカンシ
ュトラーセ 110名 称 デグサ コンストラクション ケミカルズ (ヨーロッパ)
アーゲー

3. 代 理 人

住 所 東京都新宿区富久町8番21号 T&Tビル
電話 (5366) 9961A284 氏 名 弁理士 ~~(10-284)~~ 葛和 清司

4. 補正対象書類名 請求の範囲

5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容

I. 請求の範囲 別紙のとおり

以 上



方 式 査 査

別 紙

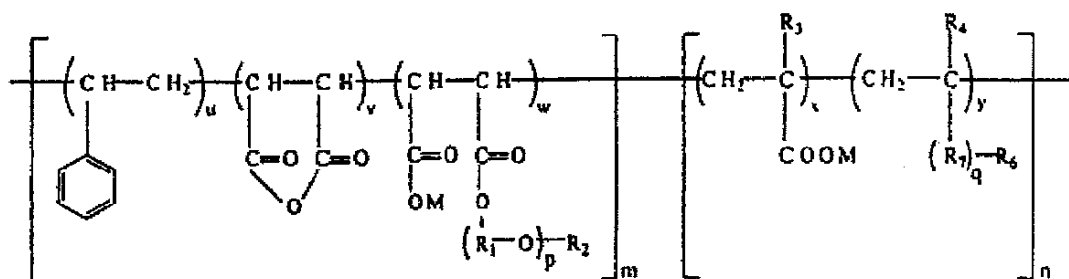
請 求 の 範 囲

1. 水硬性セメントと、ポルトランドセメントおよびセメント置換物の約10重量%を超える量のポゾラン性セメント置換物とを含有するセメント性混合物に対する適合混和剤であって、コンクリートの促進剤と組み合わせてポリカルボキシレート分散剤を含む、前記適合混和剤。

2. ポリカルボキシレート分散剤がカルボキシル、スルホネートおよびホスホネート官能基の少なくとも一つで誘導されたポリビニルカルボキシレートポリマーを含む、請求項1に記載の混和剤。

3. ポリマーがさらに、1) 親水性エチレンオキシド単位および、2) 親油性ポリプロピレンオキシド単位の少なくとも一つを含む非イオン性ポリマー側鎖を含む、請求項2に記載の混和剤。

4. ポリカルボキシレート分散剤が一般式I：



式中、R₁およびR₅は各々独立してC₂—C₃アルキルであり、R₂、R₃、R₄およびR₆は各々独立してH、C₁—C₅アルキルであり、およびR₇はO (R₅O)、CH₂O (R₅O)、COO (R₅O) およびCONH (R₅O) のひとつであり、

MはH、Li、Na、K、Ca、Mg、NH₄、アルキルアミンおよびヒドロキシアルキルアミンの少なくともひとつであり、

n+m=3～約100、好ましくはn+m=約5～約50であり、

m=0のとき、n=約5～約100、

$n = 0$ のとき、 $m = \text{約} 3 \sim \text{約} 100$ 、
 p および q は各々独立して $1 \sim \text{約} 100$ であり、
 u 、 v および w は各々独立して $1 \sim \text{約} 100$ であり、
但し、 $n > 0$ および $m > 0$ のとき、 u 、 v および w のひとは零であってもよく、
零でないとき、 u の $(v + w)$ に対する比は約 $1 : 10 \sim \text{約} 10 : 1$ であり、
 v に対する u の比は約 $1 : 1 \sim \text{約} 100 : 1$ であり、
 $m + p = \text{約} 10 \sim \text{約} 400$ であり、
 x および y は各々独立して $1 \sim \text{約} 100$ であり、
但し、 $n > 0$ および $m > 0$ のとき、 x および y のひとは零であっても
よく、
両方が零でないとき、 x の y に対する比は約 $1 : 10 \sim \text{約} 10 : 1$ であり、
 $n + q = \text{約} 10 \sim \text{約} 400$ である、
で示されるポリマー、および対応する酸、およびそれらのアルカリ金属、アルカリ土類金属またはアンモニウムの塩誘導体；
任意に、式中 m および n の一つが零であるポリマーを含む、請求項 1 に記載の混和剤。
5. セメント性材料を製造する方法であって、水硬性セメントを、フライアッシュ、スラグ、天然ポゾランおよびそれらの混合物から選択されるポゾラン性セメント置換物並びに請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の適合混和剤を混合することを含み、任意にさらにセメントおよびセメント置換物と骨材とを混合することを含み、さらにセメント、セメント置換物および骨材の混合物の水硬性凝結を行わせるために十分な水を混合することを含む、前記方法。
6. さらにシリカヒュームおよびメタカオリンの少なくとも一つをセメントおよびセメント置換物と混合することを含む、請求項 5 に記載の方法。